

令和六年

松香 Komunikado

二月十一日発行
第三百十一号

大本松香分苑
豊橋市南牛川二・三・二〇
電話 ファックス
〇五三二・六三・二一七三
発行責任者 山本 健

令和六年二月度 月次祭 ごあいさつ

分苑長 山本 健

Saluton al ĉiuj

ただいまは松香分苑の令和六年二月度の月次祭を、すがすがしく齋行させていただきました。ご参拝・ご奉仕くださいました皆様方、又オンライン参拝並びにお玉串をお送りくださりました方々、誠に有難うございます。

始めに、能登半島地震で被災され、いまだに避難生活を余儀なくされている方々へお見舞い申し上げます。これは他人ごとではございませんので、再度防災対策を見直ししましょう。特に、支援物質はすぐには来ないと思つて、最低二週間以上確保されることをお勧め致します。また、何よりも命を守ることが最も大事ですので、家具の固定や、ヘルメット、靴などの準備の見直しも再度見直しましょう！

先日二月三日開教一三二年の節分大祭が齋行されました。松香分苑からは、祭官に西川直樹様が、瀬織津姫にちひろ様とご夫妻で御奉仕くださいました。

一晚を徹して立派にご奉仕くださり、大変ご苦労様でございました。

小雨が降りましたが、そのためか、寒さも例年ほど厳しくなくおかげを頂きました。私も高柳様と未信徒の方と三人で参拝させていただきました。初めての方がおられたので、和知川での人型流しに久々に行きました。とても厳粛かつ丁寧に行われました。

続いて教主様のご挨拶を一部ご紹介させていただきます。

節分大祭での教主様ごあいさつ

〈前略〉「疑いをやめて、生まれ赤子の心になりて、神の申すことを聞いて、魂を磨いて神国の行いたいとしてくだされよ。」とご神諭に繰り返しお示し頂いていますことを、私たちは今一度肝に銘じておかなければなりません。私はご神諭の中に示されている、

日本の人民とは、日本人はもちろんですが、日本という国の枠や国籍を超えて、神さまのお言葉を素直に理解して改心することが出来る人々の事ではないかと思っております。そして「ともしびの消ゆる世の中今なるぞ差し添えいたすたねぞ恋しき」とのお歌にこの大きな変革期を迎えている世の中において神さまの大慈悲心にあふれ、改心した一人一人が消えかけたともしびを、今こそ明るく灯す時であるということを強く感じさせていただいております。

たとえ一つ一つのともしびは小さくとも大勢集まればそれが大きな炎となって世のなかを照らすように祖国常立の大神様が一三二年前に再び世にお出ましになり、開祖様を通して灯された、そのともしびの差し添えの種となり、自分自身が明るく輝く温かい光とならせて頂くことこそ、今この世に生かさせていただいている私たちの使命ではないかと思っております。

私たちは、何事においても憂いに先立ち備えつつ未来に希望をもつて素直な心で神命を実行し又どのような困難に直面しても神様を力に誠を杖に自分自身でしっかり物事や情報の本質を見極めることができるよう、御教えをお腹に入れ一霊四魂の働きを全うし、揺るがない信仰心の基で、あらゆる状況に対しスピード感をもって即行動していくことが大事だと思います。その為には心身共に強く健康であることが肝要で、食事や運動睡眠等日常生活において日々体調に注意を払い、体を整え鍛えて体力をつけ身の回りの様々な困難に打ち勝つ気力胆力をも養いながら必要な時にすぐに適切に動ける準備をしていくことが重要だと存じます。〈後略〉と激動のみろくの二年目を迎え、そのような時代に必要なことをかなり具体的にお示しくださっております。

混乱の時期には、教主様のお示しに素直に従っていくことが大変重要です。大本公式のYouTubeや、みろくの世誌などに掲載される教主様のご挨拶をしっかりと腹に入れていただくようお願い致します。

Koran dankon